

平成28年度 施策評価シート

基本目標	区民と区が協働で「すみだ」をつくる
政策	540 多様な公共の担い手が協働できるしくみをつくる
施策	542 区民の区政参画と公共サービスにおける協働を進める
施策の目標	さまざまな立場の区民が、区政の意思決定過程に参画するためのしくみが充実し、区民・事業者などそれぞれの主体と区との役割分担が明確となり、地域の課題解決のために公共の担い手となって協働し、活躍している。

1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
公募委員が委嘱されている審議会等の割合	%	40.0	-	-	-	-	
「区と一緒に、区の事業やイベントなどを企画したり、実施したことがある」区民の割合(22年度「墨田区基本計画改定に向けた社会調査」に基づく。 *平成17年度は7.8%、22年度は10.1%)	%	30.0	-	-	-	-	

2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
協働事業の実施件数(モデルプロジェクト)	件数	-	-	-	-	

3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<p>・集合住宅居住者や新住民の比率が増加しているが、協働の仕組みがこうした変化に追い付いていない。</p> <p>・企業との協働については、防災など個別分野での連携にとどまっている。</p>

4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性(選択肢に を付ける)
(1) 優先的に資源投入を図る。
(2) 現状維持とする。
(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】
新基本計画策定を踏まえ、より時代に即応した協働の仕組みづくりを進めていく必要がある。
【今後の具体的な方針】
地域力育成・支援事業の開始に伴い、講座内容を見直していく。また、基金の運用に当たっては一定の事業効果がみられるため、今後の推移を踏まえ、助成金額などの見直しを行う。

事務事業名	協治(ガバナンス)まちづくり推進基金からの助成事業		所管課・係	区民活動推進課
施策	542	区民の区政参画と公共サービスにおける協働を進める	連絡先	5608-6202
予算書名称	協治(ガバナンス)まちづくり推進基金事業費		執行実績報告書ページ	P50

1 事業の概要

平成24年3月 協治(ガバナンス)まちづくり推進基金条例制定 平成24年4月 墨田区協治(ガバナンス)まちづくり推進基金を設置し、寄付金を受け入れ開始。 平成24年7月 基金を活用した、区民による自主的・主体的なまちづくり活動を支援する制度として、墨田区協治(ガバナンス)まちづくり推進基金助成事業開始。	事業開始年度	平成24年度
	終了予定年度	未定

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか							
多様な公共の担い手					に対して		
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)							
区民等からの寄付金を積み立てる「協治(ガバナンス)まちづくり推進基金」から、区民自らが企画・実施する公益性のある事業に対して、その経費の一部助成					を実施したことで		
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか							
地域の課題解決に向け、区民自らが公共の担い手として、行政にはない発想・手法で考え、柔軟できめこまかいサービスを提供している					状態にする。		
目的を達成するための指標							
種類	指標名(指標の説明)		単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	助成事業応募団体		団体	目標値	4	6	8
				実績値	10	11	12
成果指標 (目的に対する指標)	協治によるまちづくり活動への参加意向の割合 (住民意識調査による)		%	目標値	/	/	/
				実績値	/	32	/
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)							
助成事業への応募団体数は年々増加しており、今後も増えていくことが予想される。 助成団体が増えることにより、地域の課題解決を目指す活動が活発化し、「協治によるまちづくり活動への参加意向」も上昇することが期待される。							

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) *歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	区民生活費	項	区民活動推進費	目	区民活動推進費	
27年度歳出予算額	4,364	27年度歳出決算額	3,338	27年度執行率	76.5%	28年度歳出予算額	4,196
27財源内訳(決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 有	一般財源 有	/		
使用料等の収入の有無	有	使用料等名称	・協治(ガバナンス)まちづくり推進基金寄付金 ・協治(ガバナンス)まちづくり推進基金利息 ・協治(ガバナンス)まちづくり推進基金繰入金			収入額	3,190
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		墨田区協治(ガバナンス)まちづくり推進基金助成金					
27年度実績額	1,302	28年度予算額	1,800	対象	区民等が自発的に組織する非営利の団体		
開始年度	平成24年度	根拠法令	墨田区協治(ガバナンス)まちづくり推進基金助成金交付要綱				
算定基準	審査会の審査による。			補助率	総事業費のうち、助成対象経費の3分の2以内(3万円から30万円までの範囲内とする)		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価	どちらかといえば必要
<p>区民ニーズが多様化している中で、多様な公共の担い手の成長・発展のために必要である。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
<p>地域の課題解決に向け、区民等が自発的に組織する非営利の団体による、行政にはない発想・手法での柔軟できめこまかいサービスの提供が期待できる。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>審査会の開催回数を最小限とするなどして、事業の効率化を図っている。</p>				
(4)現状と課題	<p>応募団体数が増加しているため、公開プレゼンテーションに進むことのできる団体数や、助成総額の上限額など、検討・見直しを予定している。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	事業の認知度も上がり、応募団体数も増加してきていることから一定の事業効果がみられる。助成金額などの見直し等改善をしつつ推移を見る。
今後の方向性 (見直しの視点)			
平成27年度区 議会の質問状 況	時期	無	
	要旨	無	